

会 議 名	第2回港区放課GO→クラブこうがい運営事業候補者選考委員会
開 催 日 時	令和4年9月15日（木曜日） 午後6時00分から7時00分まで
開 催 場 所	港区役所研修室 ※学識経験者及び教育職員の山崎委員は、リモートでの出席
委 員	出席者 6名 岡田委員長、富田副委員長、安梅委員、請川委員、白井委員、山崎委員
事 務 局	麻布地区総合支所管理課長 櫻庭 靖之、施設運営担当係長 駒井 担当 宇野、本多
傍 聴 者	なし
会 議 次 第	1 開会 2 議題の審議 議題1 第一次審査通過事業者の決定について 議題2 第二次審査について （1）第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）方法について （2）追加資料の有無について 3 今後のスケジュールについて 4 閉会
配 付 資 料	資料1 第1回港区放課GO→クラブこうがい運営事業候補者選考委員会会議録 資料2 第一次審査集計表 資料3 第一次審査コメント一覧 資料4 第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）方法について 資料5 第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）採点表
会議の結果及び主要な発言	
事務局	1 開会 2 議題の審議 【議題1 第一次審査通過事業者の決定について】 第一次審査結果について説明 事業者Aは、849点、加点項目分12点を除く得点率は69.8%です。 事業者Bは、791点、加点項目分6点を除く得点率は65.4%です。 事業者Aは、ワークライフバランス推進企業及び女性活躍推進の評価に該当しますので、第一次審査の事務局採点の5%をそれぞれに加算し、加点項目分は12点です。 事業者Bは、障害者雇用の評価に該当しますので、第一次審査の事務局採点の5%を加算し、加点項目分は6点です。

委員長	<p>それでは、第一次審査について、審議します。 まず、採点の結果について、各委員から講評をお願いします。</p>
A委員	<p>結果としては、事業者Aを高く評価しました。 事業者Aは、都内の他区での放課後事業の実績が多いことから、配点を高くしました。また、港区に対応したマニュアルが整備されており、事故・災害等発生時の対応についても、具体性のある提案がされていました。さらに、プライバシーマークを取得していることや、保護者対応で小学校や港区との連携というのが想定されているところ、多言語・多文化対応では、筈小学校区の特色を踏まえて具体的な対応策が記されているところで、良い印象を受けました。 事業者Bは、都内での実績が少ないことが心配です。また、港区であることや、筈小学校区の特色を踏まえて提案がされているかという、具体性が弱いと感じました。さらに、児童の人権への配慮については、外国籍及び外国にルーツのある児童への配慮の記載がなく、一般論に留まっているところが気になりました。</p>
B委員	<p>2事業者とも一般的な内容が上手に記載されているため、ほとんど同じ点数になりました。2事業者とも直接話を聞きたいと思いました。</p>
C委員	<p>事業者Aは、経験が多いので、より具体的な提案がされていました。 事業者Bは、少し一般的な内容で、具体性が弱いと感じたので、直接話を聞いてみたいです。事業内容は、勉強もみてくれるというところが事業者Aと違っており、興味を持ちました。 事業者Aは、よくある想像しやすい提案でしたので、高い評価となっていますが、事業者Bも悪いわけではないので、話を聞いてみたいと思いました。</p>
D委員	<p>2事業者とも良い提案をされていたので、点数は僅差となっています。個人情報の適切な取り扱いでプライバシーマークを取得していること、多言語・多文化対応のところで、外国語対応の職員を1名配置することやポケットクを活用するなど具体的な取り組みが提案されていたところで、僅かですが、事業者Bよりも事業者Aを高く評価しました。おやつ提供については、事業者Bはメニュー表を配布するなど良い提案がされていたので、事業者Aよりも高く評価しています。結果的には、どちらの事業者も良い提案であると感じました。</p>
E委員	<p>事業者Aと比べて事業者Bは、施設長としての経験が豊富である点を評価しました。安全対策・危機管理の面では、2事業者ともそれぞれ特徴が出ていました。事業者Bは、入退室管理システムの導入や入退室時刻を知りたい保護者にリアルタイムで、メールでお知らせすることなど良い提案が出ていました。 事業内容を比較すると、保護者対応、苦情処理体制、小学校や周辺施</p>

F 委員	<p>設、地域や地元町会との連携等について、事業者Aの方がより具体的な提案がされていました。さらに、障害のある児童への配慮について、看護師の派遣や障害児巡回希望調査票の活用を評価しました。一方で、事業者Bは、全体的に一般的な内容となっており、具体性に欠ける印象を受けました。</p> <p>どちらの事業者も良い提案をされていました。</p> <p>勤務体制について、事業者Aは学童クラブに常勤職員1名、放課GO→に常勤職員1名、その他は非常勤職員という提案でしたが、事業者Bは学童クラブに常勤職員3名という提案でした。常勤職員を多く配置している点で、事業者Bを高く評価しました。</p> <p>しかし、事業内容については、事業者Bは具体性が弱く、地域性を十分に考慮した提案になっていないと感じました。</p> <p>以上のことを踏まえて、最終的には事業者Aの方が、評価が若干高くなりました。2事業者とも、直接話を聞いてみたいと思いました。</p>
委員長	<p>委員の皆さん、採点内容について修正などありますか。</p> <p>ないようでしたら、事務局から改めまして点数の発表をお願いします。</p>
事務局	<p>第一次審査の集計結果は、事業者Aは、849点で、加点項目分12点を除く得点率は69.8%です。</p> <p>事業者Bは、791点、加点項目分6点を除く得点率は65.4%です。</p> <p>通過順位は、1位が事業者A、2位が事業者Bとなります。</p>
委員長	<p>今の点数を受けまして、第一次選考の点数と順位を確定してよろしいでしょうか。</p>
全委員	<p>了承</p>
委員長	<p>続いて、第一次審査通過事業者について、決定したいと思います。委員から何かご意見はございますか。ないようでしたら、A、Bの2事業者を通過事業者としてよろしいでしょうか。</p>
全委員	<p>了承</p>
委員長	<p>それでは、第一次審査通過事業者は、事業者A、事業者Bに決定いたします。</p>
全委員	<p>了承</p>
委員長	<p>続きまして、第二次審査について事務局から説明をお願いします。</p>

事務局	<p>【議題2 第二次審査について】</p> <p>第二次審査について説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションの方法 ・プレゼンテーションの条件 ・追加資料
委員長	<p>続きまして、第二次審査について、審議いたします。まず、プレゼンテーションの方法についてです。2事業者統一した方法が良いと思いますが、パソコン、プロジェクターを使用するか、提案書のみにするか、委員からご意見はありますか。</p>
B委員	<p>パソコンやプロジェクターを使わなくても、十分にプレゼンテーションは出来るかと思います。</p>
A委員	<p>私もプレゼンテーションの時間が10分しかない中で、セッティングにかかる時間等を考えると、パソコンやプロジェクターは使わなくても良いと思います。</p>
委員長	<p>他の委員の皆さんよろしいでしょうか。</p>
全委員	<p>了承</p>
委員長	<p>そうしましたら、プレゼンテーションの方法は、パソコンやプロジェクターの使用はなしということで、決定したいと思います。</p> <p>次に、プレゼンテーションの条件についてです。</p> <p>まず、施設長候補者を中心としたプレゼンテーションをしていただくということでよろしいでしょうか。出席者数について、ご意見はございますか。</p>
A委員	<p>施設長候補者を含めて3名程度で良いと思います。</p>
委員長	<p>それでは、出席者は施設長候補者を含めて3名程度でよろしいですか。</p>
全委員	<p>了承</p>
委員長	<p>次に、プレゼンテーションの際に使用する資料の提出を認めるかについて、ご意見はございますか。</p>
F委員	<p>A3版1枚で提案概要の提出を求めるのはどうでしょうか。</p>
委員長	<p>他の委員の皆さんよろしいでしょうか。</p>
全委員	<p>了承</p>

委員長	次に、追加資料については、いかがでしょうか。 特にご意見がないようでしたら、追加資料はなしとします。
全委員	了承
委員長	それでは、第二次審査の内容をまとめます。 プレゼンテーションの方法については、パソコンやプロジェクターは使用しない。プレゼンテーションの条件は、施設長候補者を合わせて3名までとし、A3版1枚の提案概要を提出していただきます。追加資料については、不要とします。 以上のとおり、第二次審査について決定します。
全委員	了承
委員長	今後のスケジュールについて、事務局から説明をお願いします。
事務局	3 今後のスケジュールについて ・今後のスケジュールを説明
委員長	今後のスケジュールについて、何かご意見はございますか。
全委員	(特になし)
	4 閉会